

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育相談 (Educational Counseling)		
ナンバリングコード	K20108	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年(2018年度以前) 2年(2019年度以降) / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001551	クラス名	-
担当教員名	永田 正明		
履修上の注意、履修条件	教師になるための必修科目なので、児童・生徒の模範となるような受講態度を心がけること。授業への参加状況と授業態度を重視して評価をするので座席指定をします。授業中にタブレットやスマートフォン検索をすることはないので、机上にタブレットやスマホを置いて講義を受けたりすることがないように注意すること。		
教科書	「よくわかる教育相談」 春日井敏之・伊藤美奈子編 ミネルヴァ書房		
参考文献及び指定図書	必要な資料等はこちらで準備する。		
関連科目	教育心理学, 生徒指導論, 特別支援教育論		

○基本情報			
授業の目的	教育相談を進めるにあたり児童・生徒の心身の状態を観察しつつ、個々の心理的特徴や教育的課題を適切にとらえ、心の支援に必要な基礎的カウンセリングの知識と技法を身につける。 特に来談者中心療法については正しく理解をする。また今日的な課題である、いじめ問題、不登校問題及び支援を必要とする児童・生徒に対するカウンセリングの知識及び技法を理解できるようになる。		
授業の概要	学校教育現場における教育相談の必要性和理論や相談技法について学ぶ。学校教師の生徒に対する「指導」と、いわゆる「カウンセリング」との違いがあいまいになっていることが多い。児童・生徒や保護者との相談における教師の話し方一つでも、大きな溝ができた、結果として生徒のやる気問題や不登校問題にまで発展するケースが珍しくないことまで理解したい。  * 基本的に毎回の講義中のレポート課題、あるいは事例問題を考えながら講義を進める。講義の途中段階で各自の理解度を確認するレポート課題をその都度提出する。講義期間の後半は、実際によく取りあげられている児童・生徒に関する相談事例問題に取り組み提出する。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目			

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題をよく理解し、「教育相談」の内容及び技法を熱心に理解しようとする意欲や態度が見られる。			40点
【知識・理解】	教師としての普通の児童・生徒とのかかわり方や、相談の在り方について基礎的知識を身につけ、児童・生徒の心の成長を援助する技法を理解している。			10点
【技能・表現・コミュニケーション】	事例問題演習等に主体的に参加することができる。課題レポート等の意味をよく理解し適切な文章表現ができる。		40点	
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童・生徒をめぐる諸課題に対して、総合的な観点から考察し自分の意見をまとめることができる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○講義中の受講態度(講義を聴く態度及びノートに記録する態度)は、上記成績評価基準(無形成果)のとおり50点満点である。	
○講義中に演習問題を実施し評価する。課題レポート1回あたりの評価基準は以下の通り。 5点 授業内容をよく理解し、要点をつかみ自分の意見も述べるができる。 4点 授業内容をよく理解し、要点をつかんでいる。 3点 授業内容をだいたい理解し、まとめることができる。 2点 授業内容を一部は理解しているが、全体として理解できていない。	

○その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジャースの来談者中心療法とフロイトの精神分析理論は、簡単なように思えるが非常に難解な理論であるので、講義に出席しただけで良い評価を得ることは容易ではない。できるだけ本シラバスの授業計画に示した点について予習・復習に取り組んで欲しい。</li> <li>・教職課程科目の中でも重要かつ教師としての責任感を必要とする科目であるので、「自分が教師の立場であったら、このような問題場面でどのように対応するのか」を十分念頭に置きながら受講すること。</li> </ul>	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	教育相談 (Educational Counseling) 永田 正明	授業コード	K001551
<b>学修内容</b>				
<b>1. 学校教師とカウンセリング</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜスクールカウンセラーが必要とされているのか？</li> <li>スクールカウンセラーの少なかった昭和時代の学校での対応はどうなっていたのか。</li> <li>「教師カウンセラー」という概念について。</li> <li>カウンセラーの守秘義務とカウンセリング重要案件との問題について。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>2. ロジャースの来談者中心療法①</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>「カウンセリングであって、生徒指導ではない」という意味をを正しく理解する。</li> <li>ロジャースのカウンセリング事例を実際にたどってみる。</li> <li>ロジャースのカウンセリング事例のどこに特徴があるのかを注意して抜き出してみる。</li> </ul>				
予習	カール・ロジャースについてネットなどで調べてみる。			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>3. ロジャースの来談者中心療法②</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロジャースの主張する3大理論「共感的理解」「無条件の肯定的配慮」「自己一致」とは何か。</li> <li>ロジャースのカウンセリング特徴と、なぜ世界的に今も支持されているのか。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>4. ロジャースの来談者中心療法③</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロジャース理論を念頭に置き考え出されたとされる他の人間性心理学者を知る。</li> <li>フォーカシングやナラティブセラピーといった一歩進んだ心理療法の考え方について。</li> <li>マンの時間制限心理療法の考え方とその効果について。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>5.フロイトの精神分析療法①</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングと心理療法</li> <li>古代人の夢観からフロイトの夢分析について概観する。</li> <li>精神分析理論の原点とは何か？</li> </ul>				
予習	精神分析理論はかなり難解な理論であるのでネット等で簡単に調べておく。			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>6.フロイトの精神分析療法②</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>巨匠フロイトがどんなことに取り組み、どんな成果を世にもたらしてきたかに触れてみる。</li> <li>精神分析理論をあなたははどう思うか？</li> <li>フロイトを超える心理学者がこれまでいたのか？</li> <li>国内における心理療法家の中の精神分析療法支持率と精神分析療法家</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	レポート課題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>7.フロイト以後のカウンセリング</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラーの持つ力と学校教師の持つ力を比較して考察する。</li> <li>フロイトの後継者と現代アメリカにおけるコフト理論の支持について。</li> <li>心理療法とカウンセリングは万能か？</li> </ul>				
予習	コフトについてネット等で簡単に調べておく。			2時間
復習	レポート課題に取り組み、理論の要点をまとめる。			2時間
<b>8. 不登校を考える①</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校の歴史とこれまでの考え方。</li> <li>現代の不登校や引きこもりを考える。</li> <li>担任教師の役割はどんなことか？</li> <li>不登校とは一般的に何が原因で、何が助長するものなのかについて国内の歴史と経済から考える。</li> <li>不登校に関する精神科医の医師としての立場と考え方について。</li> </ul>				
予習	国内における不登校者数の変化をネットで確認しておく。			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間

○授業計画	科目名 担当教員	教育相談 (Educational Counseling) 永田 正明	授業コード	K001551
<b>学修内容</b>				
<b>9. 不登校を考える②</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校事例問題を考えるにあたり、ケースバイケースで自分なりの対策を立てられるのか？</li> <li>自分が教師だったらどんな支援ができるのか？</li> <li>精神障害と不登校</li> <li>箱庭療法、プレイセラピーの有効性について。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>10. 不登校を考える③</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校問題への対策に限界はあるのか？現在の学校教育現場での対応を考えてみる。</li> <li>母子並行面接の考え方とそのあり方。</li> <li>自傷行為の考え方について。</li> <li>不登校生に対する認知行動療法や森田療法にヒントはないのか？</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>11. 不登校を考える④</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での対応で復帰できなかった場合、最終的にどのような事態へ展開するのかを考えてみる。</li> <li>ストレスコーピングについて。</li> <li>別室登校のあり方と不登校認定について。</li> <li>フリースクールやNPO支援団体とはどんなものなのか？</li> <li>フリースクールとフリータイプスクールとの相違について。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>12. いじめ問題を考える</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題のどこに難しさがあるのか。教師にできることは何か考えてみる。</li> <li>個人の問題なのか、昔はなかったのか、他国での状況はどうなのかについて考えてみる。</li> <li>自殺念慮と自殺予防教育について。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>13. 非行問題を考える</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>いわゆる非行を個人でできるのかどうか改めて考えてみる。非行の裏に何が存在するのかを考える。</li> <li>中学・高校における特別指導の有効性と内観法について考えてみる。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>14. 虐待問題を考える</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待と親の叱責厳罰との異同点があるのかを考えながら、教師としてどうあるべきかを考える。</li> <li>虐待をどうやって知るのか？その後の対処法はどうするべきなのか。</li> <li>父親の暴力的な態度と多動性症候群との関係。</li> <li>児童養護施設や里親制度の考え方。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>15. 発達障害を考える</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害の昔と現状を知る。学校の取るべき対応は何かについて考えてみる。</li> <li>障害の種類・特徴に応じた指導方法は何かを考える。</li> <li>特に現在増加傾向にあると言われる自閉症の特性への対応と、自閉スペクトラム症のスペクトラムの意味について考えてみる。</li> </ul>				
予習	指定教科書の当該テーマに関する部分を事前に読み、学習する			2時間
復習	事例問題に取り組み、重要事項を整理する。			2時間
<b>16. 予備日</b>				
予習				
復習				